



No.11, 2021. 1. 29

サポートスタッフの米田典子です。

今から史上最速の避難訓練の話を見せてください。

どこでしょう。ぴっぴです。我が家も4年間、ぴっぴに息子が通ったので、ぴっぴの避難訓練、というのは何度も経験しています。ただそれは、保護者としての避難訓練で、「災害伝言板をチェックすること」「お迎え時は、おしゃべりをせずにさっさと来ること」など心して参加はしていましたが、まさかこんな避難訓練をぴっぴの子どもたちとスタッフがやっていたなんて。。。

1月15日。お休みの園児は誰もおらず、「ドイツのみづきちゃんだけだねー」と朝の集まりで話していました。朝のスタッフミーティングでは、避難訓練があること、火事の設定、誰がメールする、などの簡単な決まりは聞いていましたが、それ以外の詳細については知らず、ただただその日子どもたちと一緒に遊んでいました。子どもたちは避難訓練があることはおそろく知りません。

お昼過ぎ、突然大きな笛の音が鳴りました。「ピーー」

ぴっぴでは避難訓練時の笛は3回鳴ったら集まる、という風にならから認識していたので、あと2回鳴るなどと思って振り返ると、もうすでにほとんどの子どもたちがスタッフ駐車場の前に走って集結しているではありませんか。その走り方も、相当速いです。運動会のように、一所懸命に一目散に走っています。1回目の笛の音で、ここまで集まれる？私も3回の笛の合図を待っている場合ではなく、慌て始めました。砂場近くにいたので、そこでまだ遊んでいるどんぐりさんに「火事だよ、逃げて！」とだけ伝えたと、はっとしたようにみんなが集まっている駐車場のところに走って行きました。笛を吹いたちょうこさんが、集まっている子どもたちとどんどんぴっぴから離れて移動しています。森の方では、ゆうすけっちが走って見回りをはじめ、私も別の場所を見回ります。子どもは誰一人残っておらず、みんなの集合しているところに私も走って行きましたが追いつきません。えりさんやさやかさんが、避難に必要な荷物やロープを手に取り集まります。まゆさんが、どんどん避難しているちょうこさんと子どもたちに声をかけました。人数を数えましょう。もうその時子どもたちはもみじ谷に行く道の角を曲がっていました。

笛が吹かれてからそこまで3分ぐらいでしょうか。私も子どもたちに追いつくと、おおくり、くりの子どもたちは口に手を当てていました。火事の設定だったから、息をあまり吸わないように声掛けがあったのかもしれませんが。子どもたちが興奮して話したり遊んだりする様子もありません。ちょうこさんは、「こっちから、おおくり、くり、まつぼっくり、どんぐりに並びましょう」と声をかけます。おおくり、くり、はササッと並び、まつぼっくり、どんぐりの並びの手伝います。さっと整列。人数点呼終了。

史上最速の避難訓練を見た私は茫然とし、この数分間に起こったことを思い出していました。何、この素早さ！結合力！その後、子どもたちとスタッフはきちんと並び、歩いてみじ谷まで進みます。保護者の皆さんが到着されるにはまだまだ時間があるでしょう。すぐにロープを使った避難訓練の練習が始まりました。学年ごとに1本のロープを持って、歩きます。避難訓練が早くに終わったから、新たに他の避難の練習ができるなんて、それを園児たちがやっているなんて。ロープの後は、スタッフが交代で絵本を読み、聞き入る子どもたち。いつもの風景の様ですが、ちょっとビリとした空気感が残りつつみんなお母さんたちのお迎えを静かに待っていました。

家に帰ってから2年生の息子に聞きました。「ぴっぴの避難訓練ってめっちゃ早く集まるんやね」「そうだよ、早いよ〜」なぜそんなことを聞く、当たり前でしょ、といった感じでした。いつものぴっぴでは好きなように遊び、大人の声かけも気にせずに納得が行くまで遊び通す子どもたち。そんな「自分の時間」を持った子供たちが避難の笛の音だけで、一気に集合していく。いざというとき、この子どもたちはちゃんと逃げられる、確信をもった一日となりました。

さて、がらっと話が変わります。何度かサポートスタッフとして参加して、保護者の時にできていなかった事を反省しつつ、書かせていただきます。私もできていませんでした。今言います。まゆさん、スタッフの皆様、本当にごめんなさいー！

服や持ち物に名前が書かれていないのが目立ちます。特にサポートスタッフは、幼児の持ち物を誰のものか見分けられません。小さい人たちは自分の服も脱いだ後はどれか分からない場合があります。おさがりも前の名前のままの服もあり、混同します。えりんこ体操時、10人ほどが一斉に着替えるのでかなり困りました。今一度、お荷物をぎざっとお確かめいただけると助かります。

：米田典子

森林のみちくさ Sketch book 2月

氷点下の凍り付いた森林。凍り付いた森林の中でも生き命があります。なかなか出会うことは難しいけれど、雪がふると、動物や鳥たちの足跡が雪の上につき、その存在を伝えることができます。

ぴひひの森でも、夜や、早朝、子どもたちのいない時間にきているのですね。ウサギやリス、鳥たち 時にはカモシカの足跡などもみつけることができます。足跡はそれぞれ特徴があるので

覚えておくと、冬の森のお散歩の楽しみがぐんとふくらみますよ♪

菜々鹿



離れ山や浅間山に登るとよく出会います。

ニホンカモシカ

100cm程
100cm程
体重が30~50kgとあるので雪深いと足跡といより穴、またはフセル跡にたふている。蹄のあとが半円状



ウサギのヤロップ

ウサギ

14cm
後足 14cm
前足 14cm
後足が左右並んで着地する。前足は前後につくことが多い。

ニホンリス 前足長さ 3.5cm 後足長さ 6cm
冬の森で最もみやすい動物。足跡は後ろの形のように後足が前にくる。木によく登っている。足跡は根元で消えていることも多い。

鳥の足跡
真の種や木の葉などが残っているところに鳥の足跡がみられることがあります。

冬の森で鮮やかな黒と赤の姿をみせろアマガツ

今日のTeatime
ダンコウバイチャイ

6月号で紹介したダンコウバイ。その時に葉っぱだけでしたが、今回は冬芽と枝を煮出したチャイです。1本と温める効果があり、免疫力向上効果もあります。作り方は本を天日干しして、2~3cm(まど)にぎって10~15分ほど煮出して、お湯を加えて淹れればOKです。お湯は1リットル程度が目安です。

ウスタビガの蘭

冬の森を歩いていると枯葉色の中に鮮やかな黄緑色のフランランと咲き出す。正体をみつけることがありますが、正体はウスタビガといふのが美しい。この花が、あまのいさぎに形がかわいさ、いっしょにみまわす。

《 2月のお知らせ 》

今、ぴひひの子どもたちが好きな歌「オニはうちでひきうけた」をどんぐりさんも鼻歌のように口ずかしています。

1. うちにオニがいたらさ くびにくさりをつけちゃって
どろぼうなんかきたらさ ワオーッってほえてもらおうよ
(繰り返し)
オニはうちったらオニはうち オニはうちでひきうけた
オニはうちったらオニはうち オニはうちでひきうけた
2. うちにオニがいたらさ ぼくがおさんぼさせるよ
いばってるのがきたらさ コラッっていってもらおうよ
(繰り返し)
3. うちにオニがいたらさ いっしょにこたつにはいろうよ
オニはつめがながいから みかんをむいてもらおうよ
(繰り返し)

今年は2月2日が「節分」ですね。仲間のようなオニの歌を歌いながら、どんなぴひひの子どもたちの豆まきになるでしょうか。

巣立ちに向けて、おおくりさんの準備も始まりました。一日一日が愛おしくなるような、一年の終わりの時期に入ってきました。極寒の2月ですが、元気で休まずに過ごせますように。

真弓

◎2月の予定

- 2日(火) おおくりさんの「ふゆしぜんびじゅつかん」展覧会
※実際に美術館に行ったことから、自分たちの「色の時間」の絵を飾ってみんなにみてもらいたいと準備中です。
※ネーミングはおおくりで話し合いました。
※おおくりさんの保護者の皆さまにはご招待状が届くと思います。
※内緒でお願いいたします。

- 5日(金) えりんこたいそう (バイブルメインホール)
9日(火) ぼろびび保護者会 (バイブルメインホール)
10日(水) 避難訓練予定
12日(金) ちょこミック (バイブルメインホール)